



2022年11月22日

各位

会社名 株式会社eWeLL  
代表者名 代表取締役社長 中野 剛人  
(コード：5038 東証グロース市場)  
問合せ先 常務取締役 北村 亜沙子  
管理本部長  
(TEL. 06-6271-9333)

## 2022年12月期第3四半期決算および通期業績予想の修正に関するQ&A

2022年11月11日に公表した当社の2022年12月期第3四半期決算および通期業績予想の修正に関し、公表以降に投資家様などから多くのご質問やご要望をいただきました。その主な内容と回答を以下のとおりお知らせいたします。

なお、本開示は、市場参加者の皆様のご理解をより一層深めるために当社が自主的に実施するものであります。

また、当社の業績に関しまして、過去の開示資料につきましては、当社のホームページの「IR ニュース」(<https://ewell.co.jp/ir/ir-news/>) よりご確認ください。

Q1	上方修正された通期業績予想のうち売上高について、第3四半期の実績よりも第4四半期が減少するように見えますが、その理由を教えてください。
----	---

A1：今回の業績予想の修正において、売上高は確実に達成できるレベルでの修正としております。第3四半期までに計画値を上回った部分を当初の通期予想に上積みしており、第4四半期の売上高は保守的に当初計画どおりにしております。

Q2	今回修正された通期業績予想の利益について、第4四半期においてかなり減少するように見えますが、季節的要因など理由があれば教えてください。
----	---

A2：第4四半期におけるコストの増加につきましては、主につぎの要因によるものです。

- ① 当社の主力サービスである「iBow」のリプレイスに係る2重コストの発生：約15百万円
- ② 2022年10月に東京で開催した展示会にかかる費用：約10百万円
- ③ 当期末に計上予定の業績連動型役員賞与：約50百万円

なお、③の業績連動型役員賞与は、今後の業績動向に影響を受けるものであり、修正発表しました業績予想に対する見込みであります。

Q 3	第3四半期の決算と同時に開示された決算説明資料において、過去に開示されていた「稼働ステーション数」の開示がなく、「契約ステーション数」での開示とされていますが、何か理由はありますか。また、「稼働ステーション数」の開示も継続していただきたいのですが。
-----	--

A 3：当社においては「契約ステーション数」をより重視しておりますため、今回の開示内容となりましたが、過去に「稼働ステーション数」を開示していたこともあり、今後は「稼働ステーション数」についても開示する方向で検討いたします。なお、第3四半期末時点の「稼働ステーション数」は、1,945件であります。

※補足：「稼働ステーション数」は、当社のサービスを利用中のステーション数。

「契約ステーション数」は、「稼働ステーション数」にサービス準備中のステーション数を加算した合計。

以 上

<免責事項>

- 本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- 本資料は、2022年11月11日に公表した「通期業績予想の修正に関するお知らせ」の内容に関していただいたご質問やご要望の内容に基づき、一部質問者の表現を修正して公表するものであります。
- 本資料に記載される情報は、いわゆる見通し情報を含んでおり、当該情報は本資料公表時点における当社の見解であり、将来に関する記述につきましては、今後様々な要因により変動する可能性があることをご承知おきください。